

《公表》 放課後等デイサービス評価表

事業所名： きらきはうす(放課後等デイサービス)

公表日 2025年 2月 21日

利用児童数 26名

回収数 16数

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	3		1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16					
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	16					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」、で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないように工夫されていると思いますか。	16					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	2	8		事業所の意向だけでなく、相手方の都合もあるので、調整の難しさを感じています。
	12	事業所を利用する際に、運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15		1			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	4	2	2		家族等が参加できる研修会を実施していませんが、研修等で知りえた情報は、保護者面談などで伝える様に心がけています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解が出来ていると思いますか。	15	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言などの支援が行われていますか。	16					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	4	1	10		夏のイベントでは、一部の保護者様にご参加頂きましたが、全ての保護者様やご兄弟を招待するには至りませんでした。検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に、迅速かつ適切に対応されていますか。	14	2				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	3		1		
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16					
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	3		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	4	1	7	避難訓練はあまり聞いた事が無い	毎年実施していますが、保護者に伝わっていない事が分かりましたので、実践報告などをする機会を新たに設けます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1		1		
	26	事故等（怪我等も含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況について説明がされていると思いますか。	12	1		3		
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16					

満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1		1	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				子どもに合わせた支援をして頂き感謝しています。 こういったコメントを頂ける事が励みとなります。

※ 1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配慮などを工夫する事です。

※ 2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見えるかを図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表する事が求められています。

※ 3 「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画の事です。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※ 4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動の事です。子どもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※ 5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶ事により、子どもの行動変容することを目標とします。